

現在の会員数 一般会員 127名 団体会員 3団体 (令和6年3月現在)

令和7年度定例総会・特別講演の報告

日時：令和7年7月26日(土)13時30分～15時30分

場所：日本水道会館会議室及びWEB (Zoom)

定例総会 議長：眞柄泰基会長

- 議事：第1号議案 令和6年度事業報告
- 第2号議案 令和6年度収支決算の認定
- 第3号議案 令和7年度事業計画案
- 第4号議案 令和7年度収支予算案
- 第5号議案 役員改選

結果：いずれも全会一致により承認



写真-1 議長を務めた眞柄会長

特別講演：上下水道事業の危機と持続可能な経営への道すじ

講師：東京都立大学 特任教授
東京大学 名誉教授 滝沢智 様



写真-1 講演中の滝沢様

滝沢様は水系伝染病対策やし尿処理投棄対策にはじまり老朽化や災害への対策へ変遷していく上下水道の目的・課題や関係法の制定について解説。水管橋崩落・道路陥没といった老朽化による事故事例や八潮市での下水道管破損に起因する陥没事故の復旧対応について紹介されました。上下水道が概成し老朽化や

自然災害の激甚化が大きな課題となっている2025年の現在が「これからの上下水道政策のひとつの分岐点」とし、水道料金水準をはじめ事業経営の現状を説明。個人の損得に対する社会の優先度が高まる中、公共の利益としての水道の必要性の理解向上が重要になると話されました。また、日本とアメリカの医療分野の公共支出の比較や、能登半島地震における被害、タイ・バンコク市の漏水事故件数、「上下水道政策の基本的なあり方検討会」でとりまとめた上下水道強靱化のための政策の方向性等について紹介されました。

水を語る会幹事による「若手が水道に思う話題提供」

講師：東京設計事務所 馬場未央 幹事

馬場幹事は「100年後の水道は今のレベルの水供給を続けられるか」について課題を提起。現行の水道システムのままでは持続が難しいとしたうえで、将来の居住分布を見据えた広域化／集約化の検討や「今の水道ありき」からの脱却、水道料金のあり方や施設管路整備手法の見直しといった「新たな水道システムの構築」を検討し、今後10年で100年後を見据えた成功例を作る必要があるのではと呼びかけました。



定例幹事会の報告

日時：令和7年7月26日(土) 12時～12時50分

場所：日本水道会館及びWEB会議

議題：次回(総会)の講演者について

編集後記

厳しい残暑が和らいだと思ったら朝晩には驚くほど気温が下がり、秋の短さを身に染みて感じています。皆様もどうかご自愛ください(幹事 西田有輝)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>